

# 村 上 市

## 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

### 集計結果 【概要版】

#### 1. 調査の実施

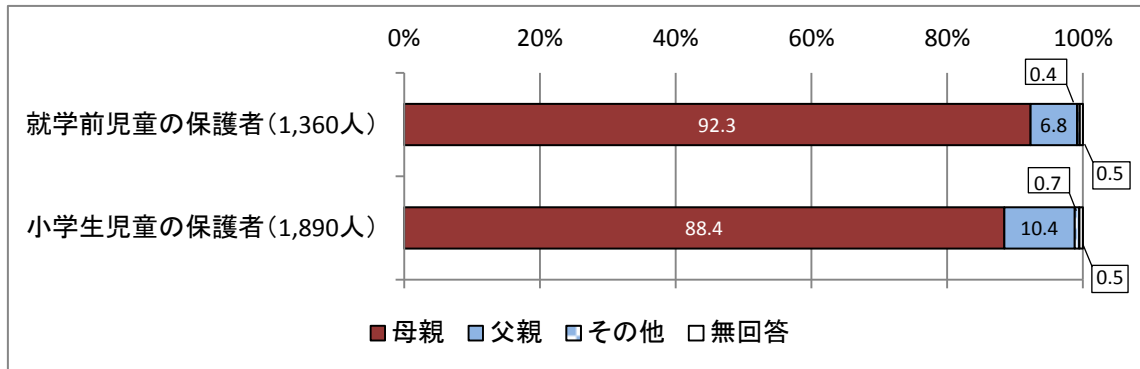
調 査 対 象	① 就学前児童の保護者 1,950 人 ② 小学生児童の保護者 2,330 人 合計 4,280 人
調査の実施方法	① 就学前児童：保育園・幼稚園の各施設を通して配布、回収 ② 小学生児童：学校を通して配布、回収 (一部、郵送による配布、回収)
調 査 期 間	平成25年10月25日～平成25年11月8日
回 収 件 数	① 就学前児童の保護者 1,360 人 (回収率 69.7%) ② 小学生児童の保護者 1,890 人 (回収率 81.1%) 合計 3,250 人 (回収率 75.9%)
グラフの見方	(1) 集計結果はすべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがあります。 (2) 複数回答の設問の場合、集計結果の合計が100%を超えることがあります。 (3) グラフおよび表にある( )内の数字は、有効標本(集計対象者総数)を表しています。 (4) 文中の(単数)は、単数回答を表し、(複数)は複数回答を表しています。

## 2. 調査の結果概要

### (1) 保護者の状況

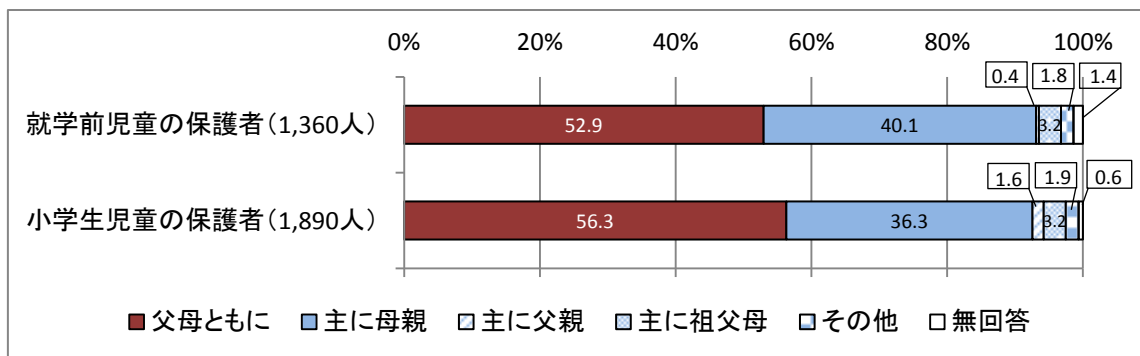
#### ① アンケートの回答者について (単数) 【就学前：問4、小学生：問4】

アンケート回答者については、就学前保護者（以下、就学前と言います。）、小学生児童保護者（以下、小学生と言います。）ともに、「母親」が回答の大半を占めています。



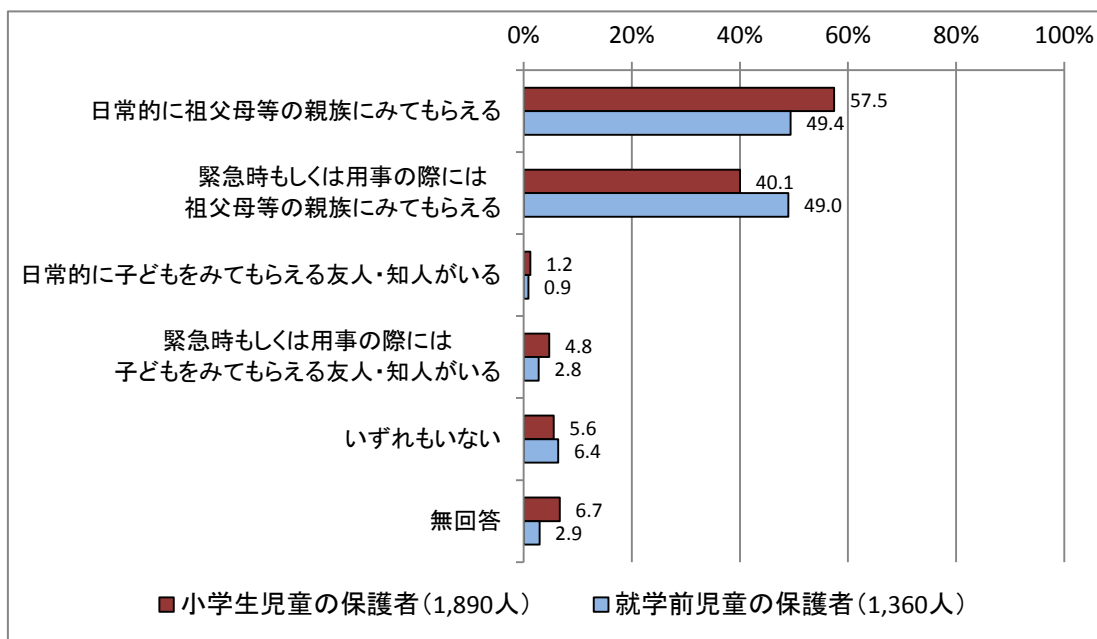
#### ② 主に子育て(教育を含む)を行っている人 (単数) 【就学前：問6、小学生：問6】

主に子育て(教育を含む)を行っている人については、就学前、小学生ともに「父母ともに」が5割以上と最も多く、次いで「主に母親」となっています。



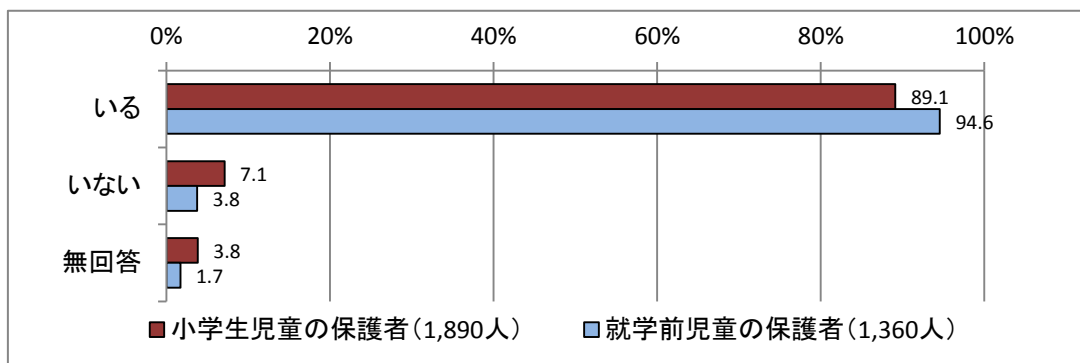
③ 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（複数） 【就学前：問9、小学生：問7】

子どもをみてもらえる親族・知人の状況については、就学前49.4%、小学生57.5%と「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前、小学生ともに4割を超えています。



④ 気軽に相談できる人の有無（単数） 【就学前：問10、小学生：問8】

気軽に相談できる人の有無については、就学前、小学生ともに「いる」が9割程度となっています。就学前、小学生ともに「いない」は1割以下ですが、小学生の回答が就学前より多くなっています。

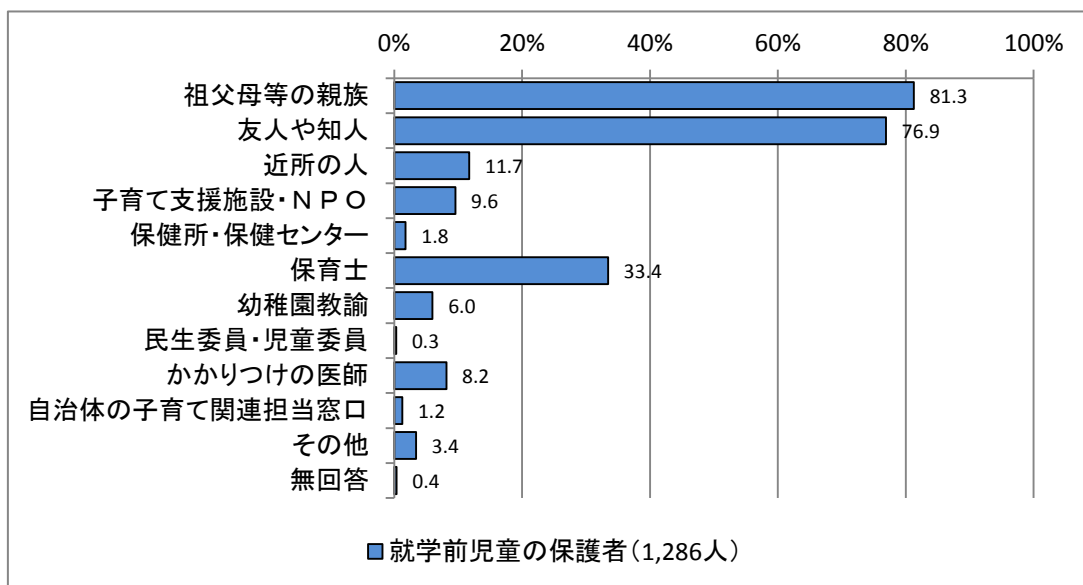


④-1 気軽に相談できる先について（複数） 【就学前：問10-1、小学生：問8-1】

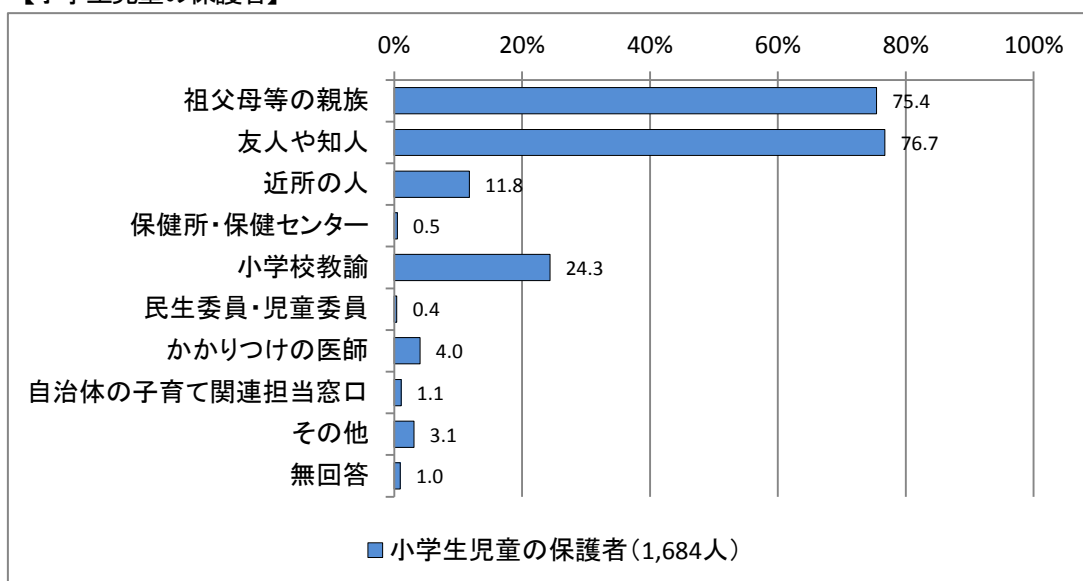
気軽に相談できる先については、就学前では「祖父母等の親族」が8割以上、「友人・知人」が7割以上と大半を占めています。続いて「保育士」が33.4%、「近所の人」が11.7%となっています。

小学生については、「友人や知人」が76.7%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が75.4%と多くなっており回答の大半を占めています。続いて「学校の先生」が24.3%、「近所の人」が11.8%となっています。

【就学前児童の保護者】



【小学生児童の保護者】

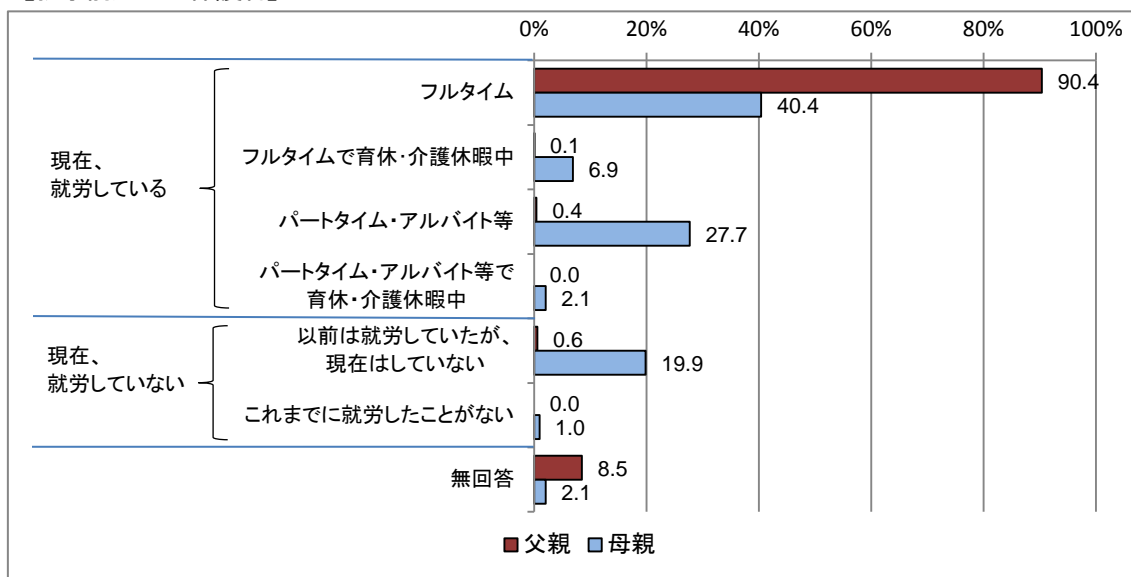


⑤ 保護者の就労状況について（単数） 【就学前：問12、小学生：問10】

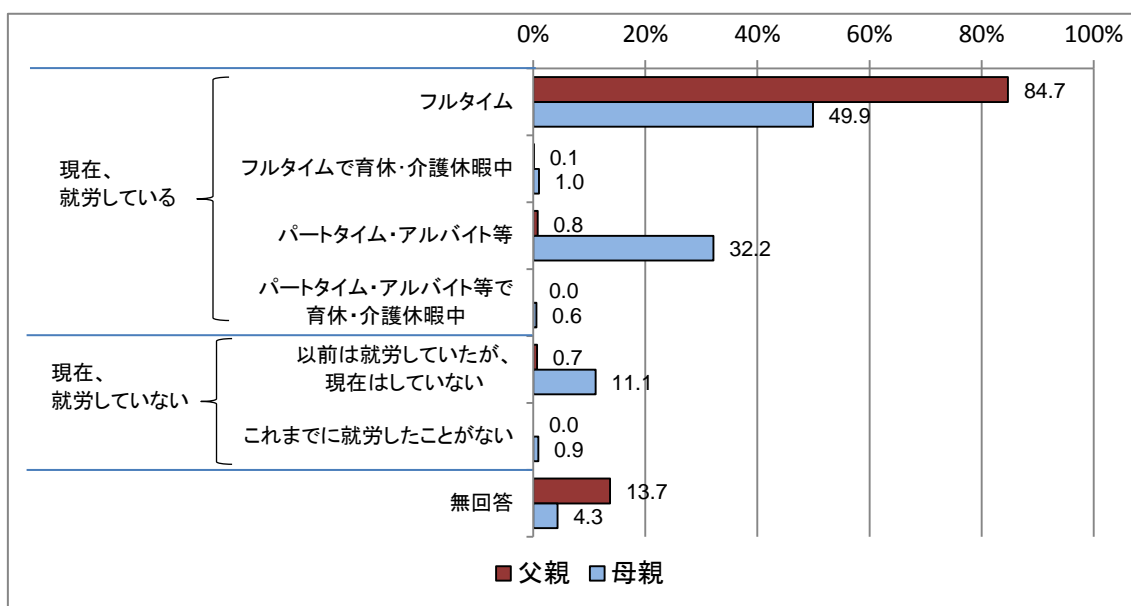
保護者の就労状況については、母親では就学前に比べて、小学生で『現在、就労している』の回答が多くなっており、反対に、小学生に比べて就学前で「以前は就労していたが、現在はしていない」という回答が多くなっています。

父親では、就学前、小学生ともに「就労中/フルタイム」が回答の大半を占めています。

【就学前児童の保護者】



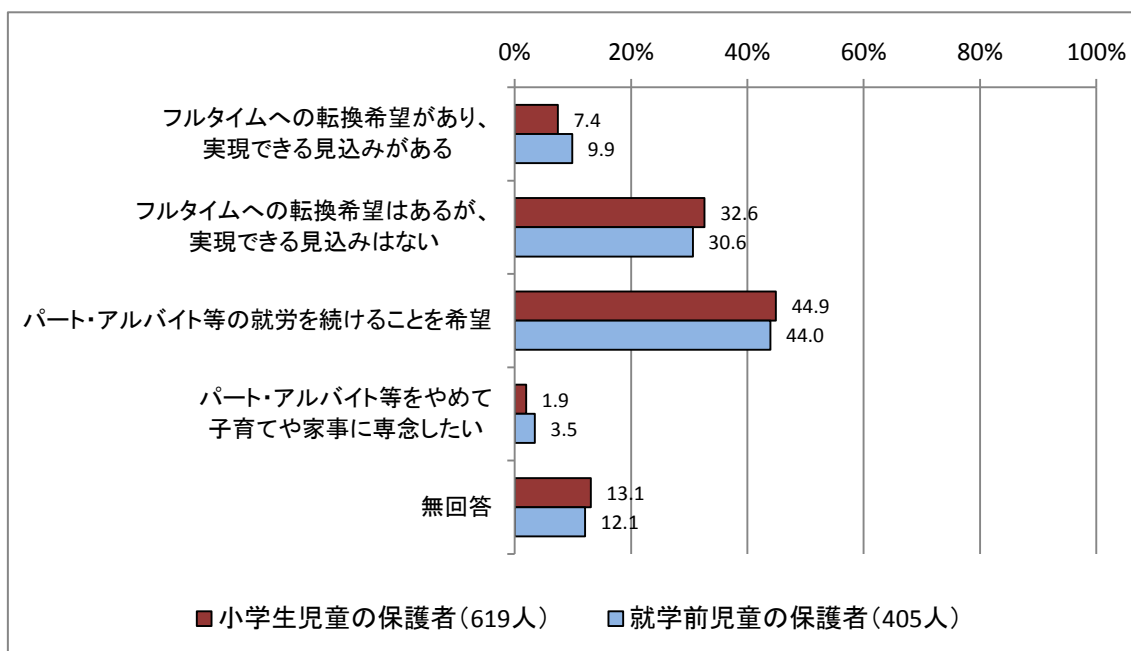
【小学生児童の保護者】



⑤-1 母親のパート・アルバイトからのフルタイムへの転換希望（単数）

【就学前：問13、小学生：問11】

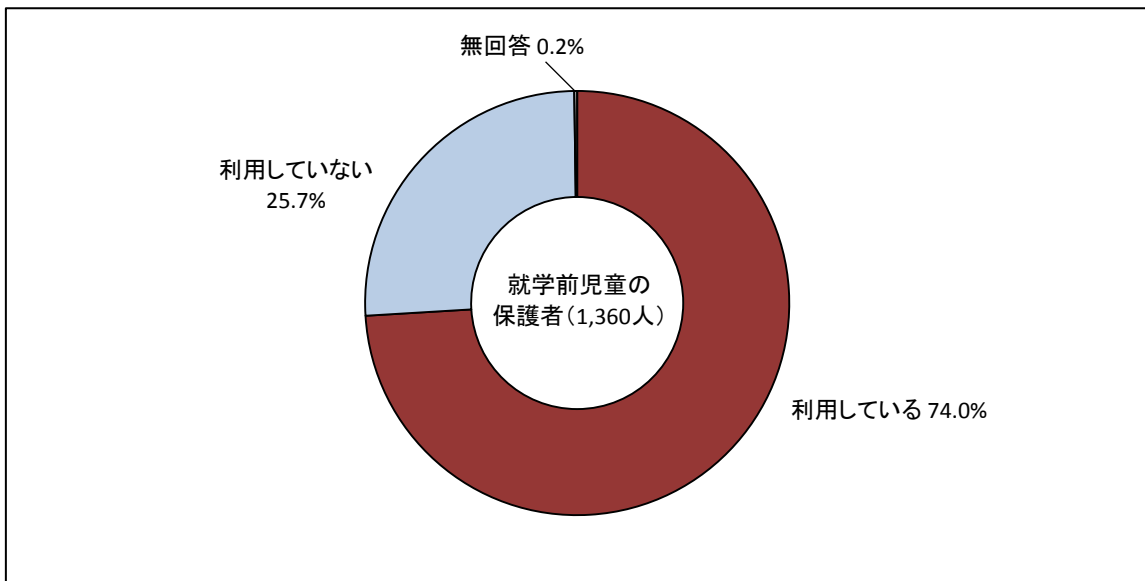
母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望については、就学前、小学生ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多い。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前、小学生ともに3割を超えています。



## (2) 平日の定期的な教育・保育事業について

### ⑥ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 (単数) 【就学前：問15】

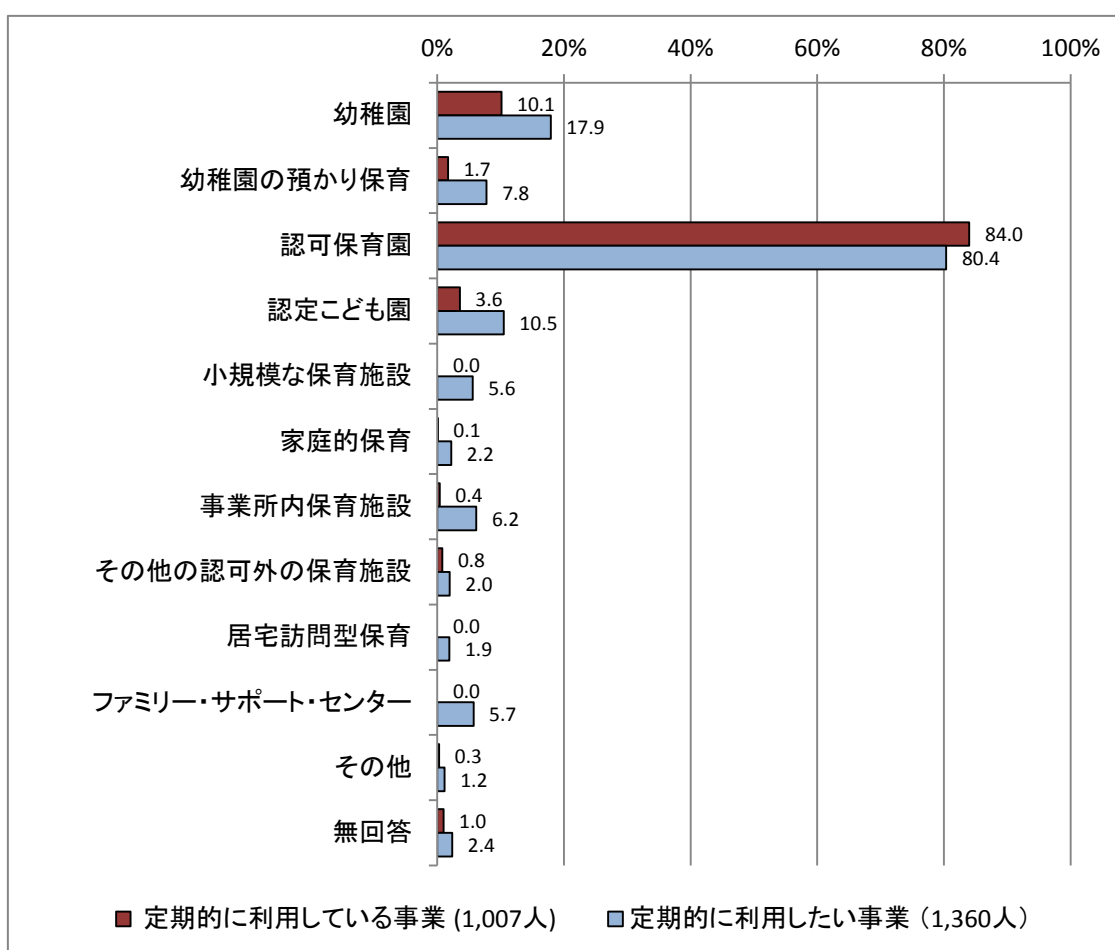
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が74.0%、利用していないが25.7%となっています。



⑥-1 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業（複数）と今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業（複数） 【就学前：問15-1、問16】

現在利用している平日の定期的な教育・保育事業、今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業ともに、「認可保育園」が最も多く8割を超えています。次いで「幼稚園」が多く、概ね現状の利用状況と希望が一致する傾向となっています。

「幼稚園」「認定子ども園」「幼稚園の預かり保育」「事業所内保育施設」「小規模な保育施設」「ファミリーサポートセンター」では、今後の利用を希望する回答が、現在の利用を大きく上回っています。

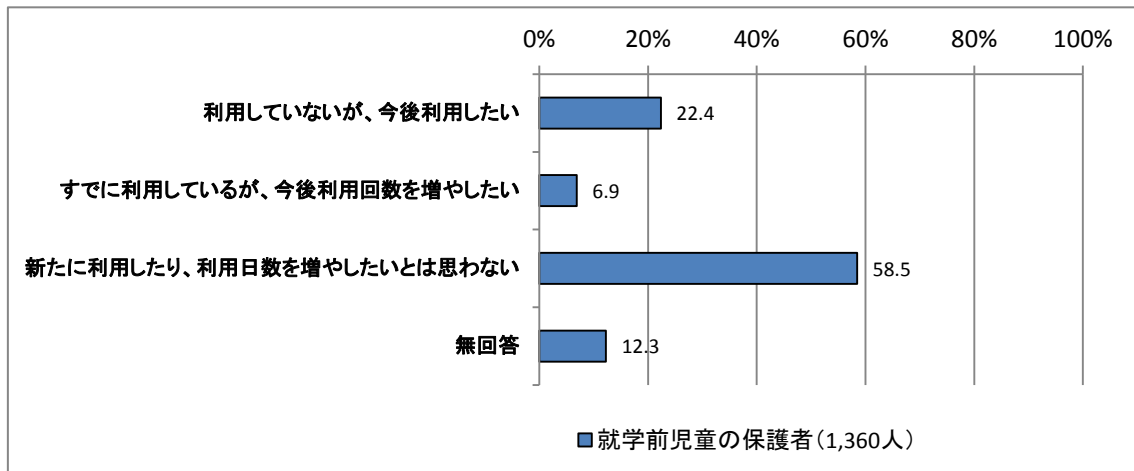




### (3) 子育て支援拠点事業について

#### ⑦ 地域子育て支援事業の利用状況（単数） 【就学前：問18】

地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」「子育て支援センター」等）の利用状況については、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が6.9%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が58.5%、「利用していないが、今後利用したい」が22.4%となっています。

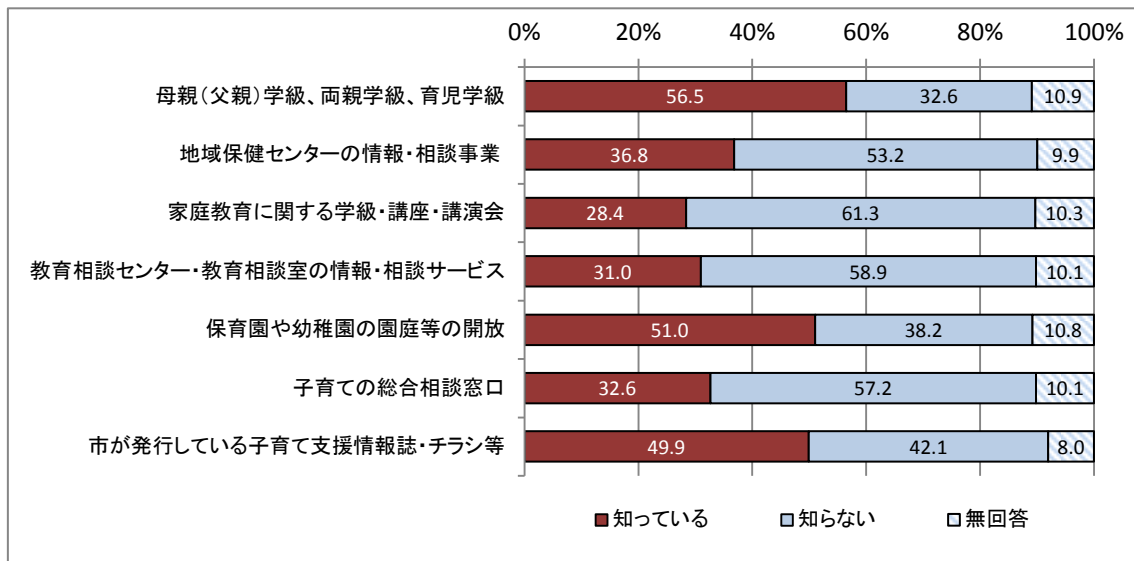


#### (4) 村上市の子育て支援事業について

##### ⑧-1 村上市の子育て支援事業等で知っているものについて (単数) 【就学前：問19】

村上市の子育て支援事業等で5割以上「知っている」と回答されたものは「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」56.5%、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」51.0%でした。

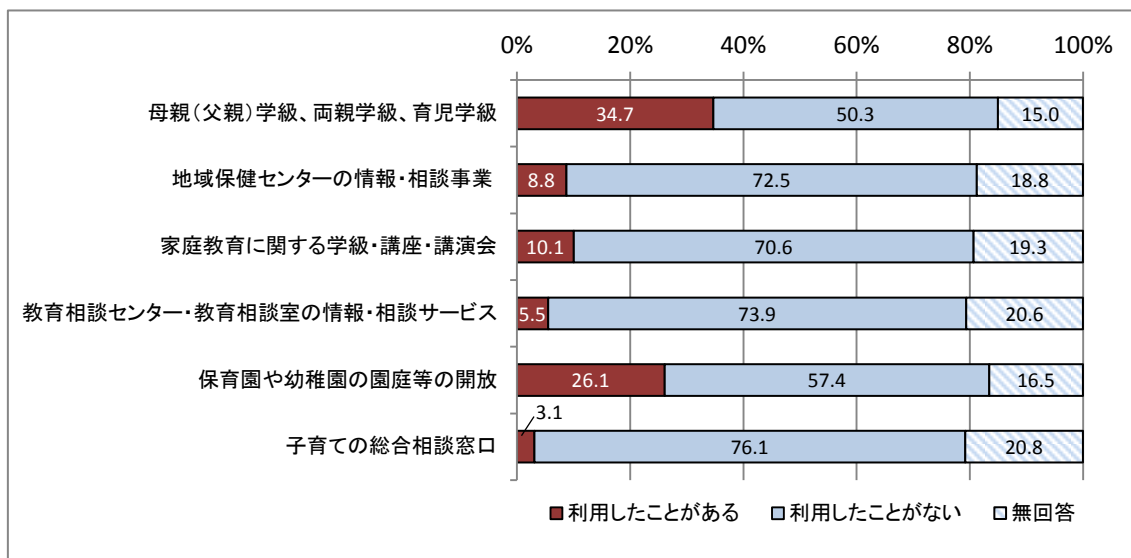
(就学前保護者 1,360人)



⑧-2 村上市の子育て支援事業等の利用状況について（単数） 【就学前：問19】

村上市の子育て支援事業等の利用状況については、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」34.7%、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」26.1%でした。

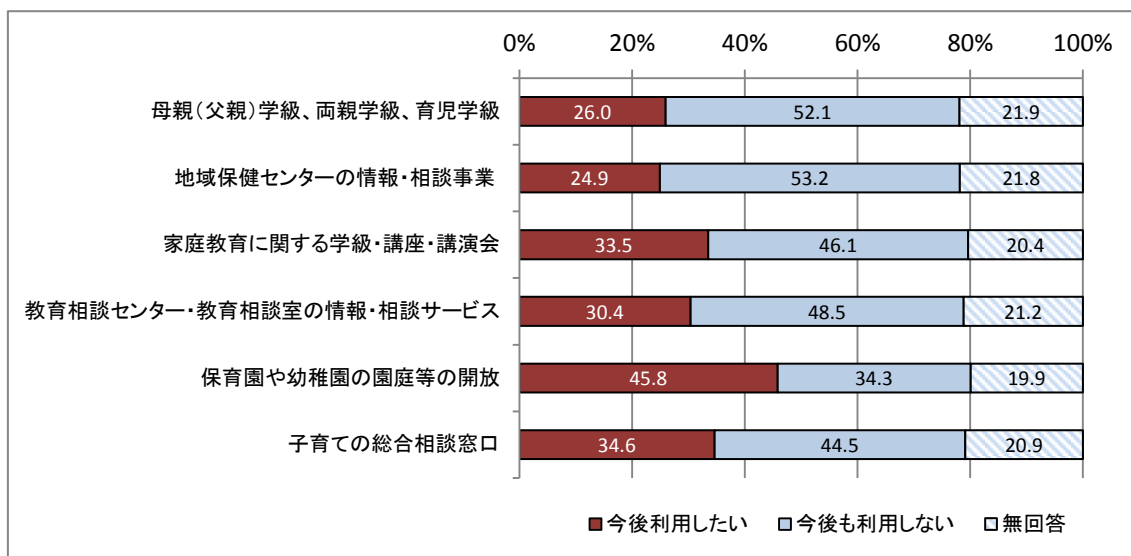
（就学前保護者 1,360人）



⑧-3 村上市の子育て支援事業等の今後の利用希望について（単数） 【就学前：問19】

村上市の子育て支援事業等の利用希望については、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が45.8%で最も多く、「子育ての総合相談窓口」「家庭教育に関する学級・講座・講演会」「教育相談センター・教育相談室の情報・相談サービス」が3割を超えています。

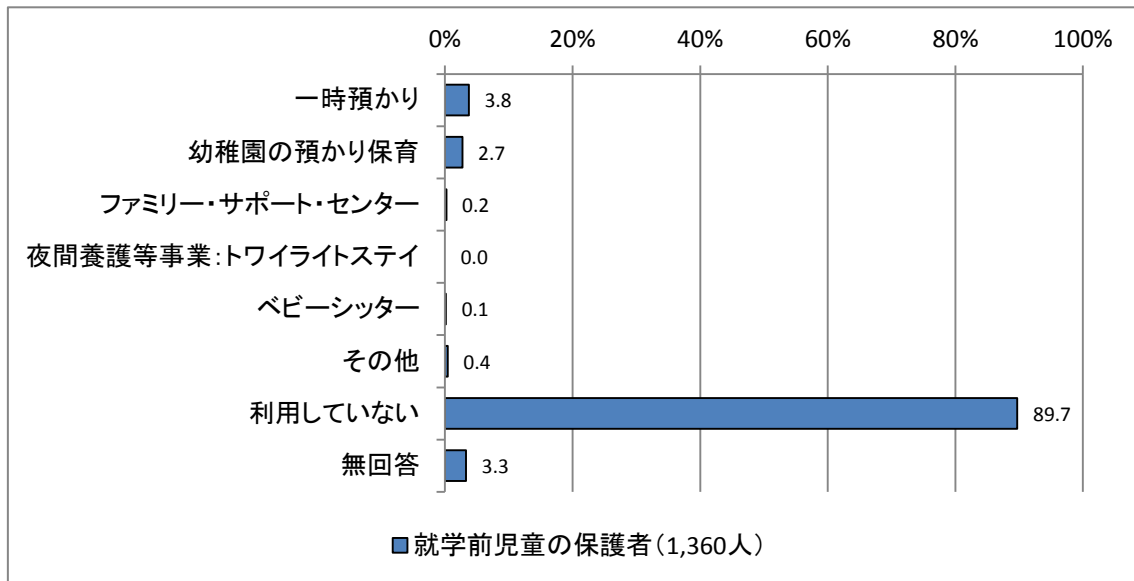
（就学前保護者 1,360人）



## (5) 一時預かりの利用状況について

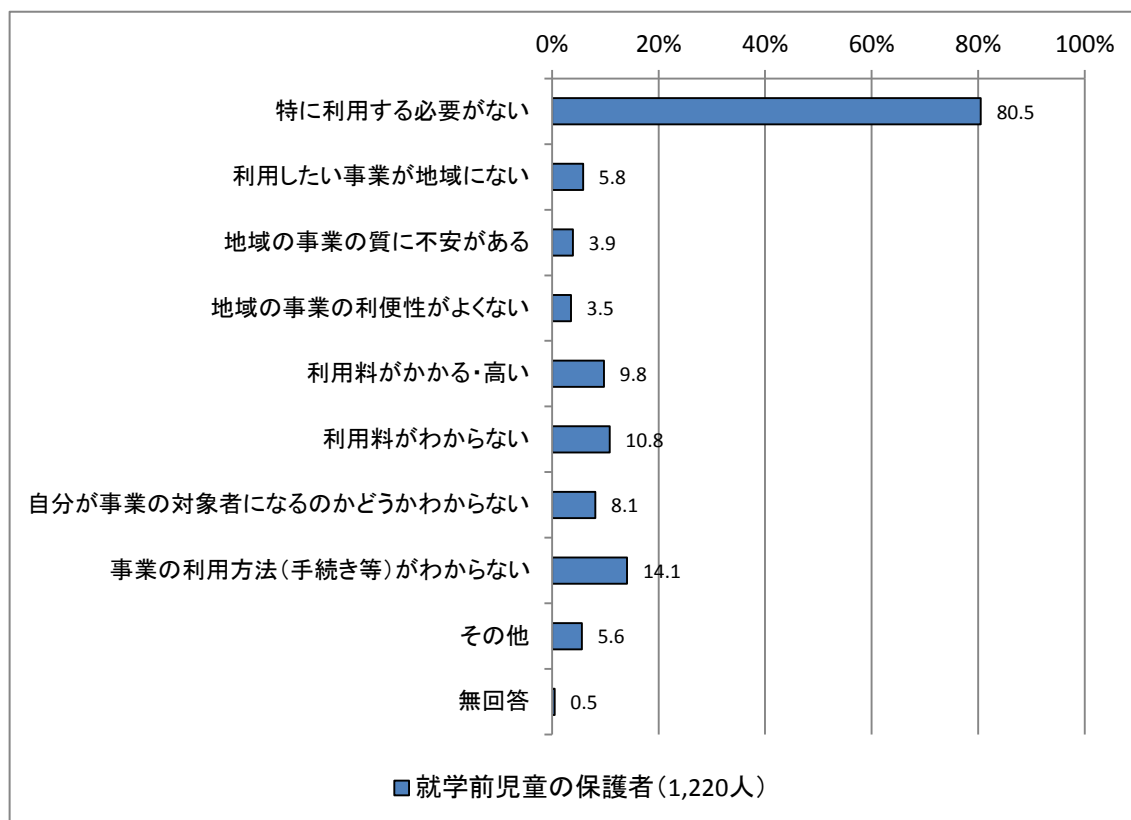
### ⑨ 不定期に利用している教育・保育事業について（単数） 【就学前：問24】

不定期に利用している教育・保育事業については、「利用していない」が89.7%と最も多くなっています。



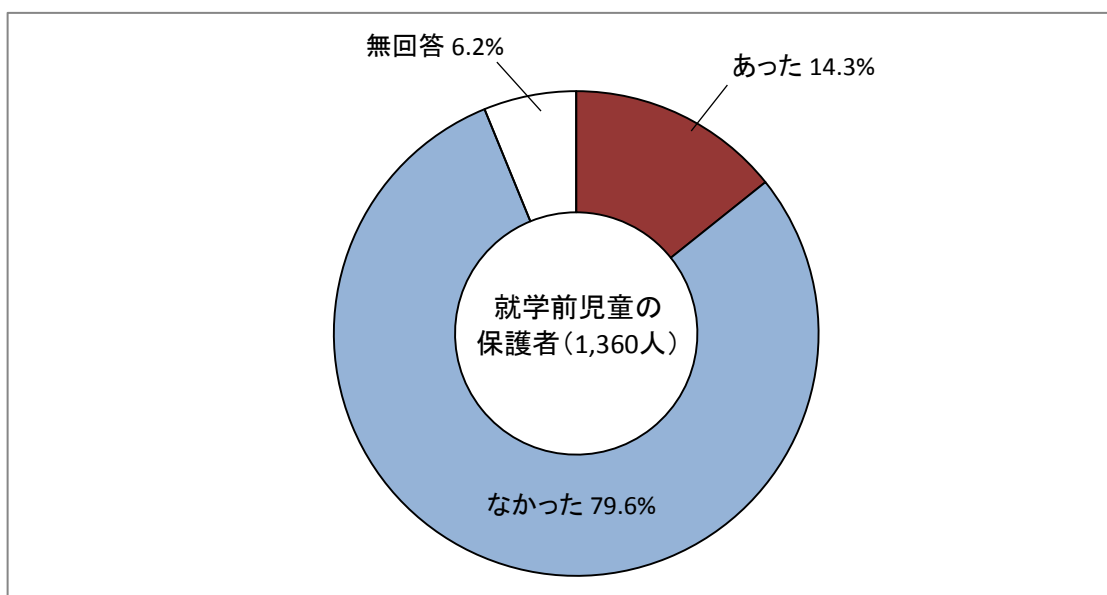
⑨-1 不定期に教育・保育事業を利用しない理由（複数） 【就学前：問24-1】

不定期に教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」が80.5%と最も多く、回答の大半となっています。その一方で、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」「利用料がわからない」「利用料がかかる・高い」で1割程度の回答があります。



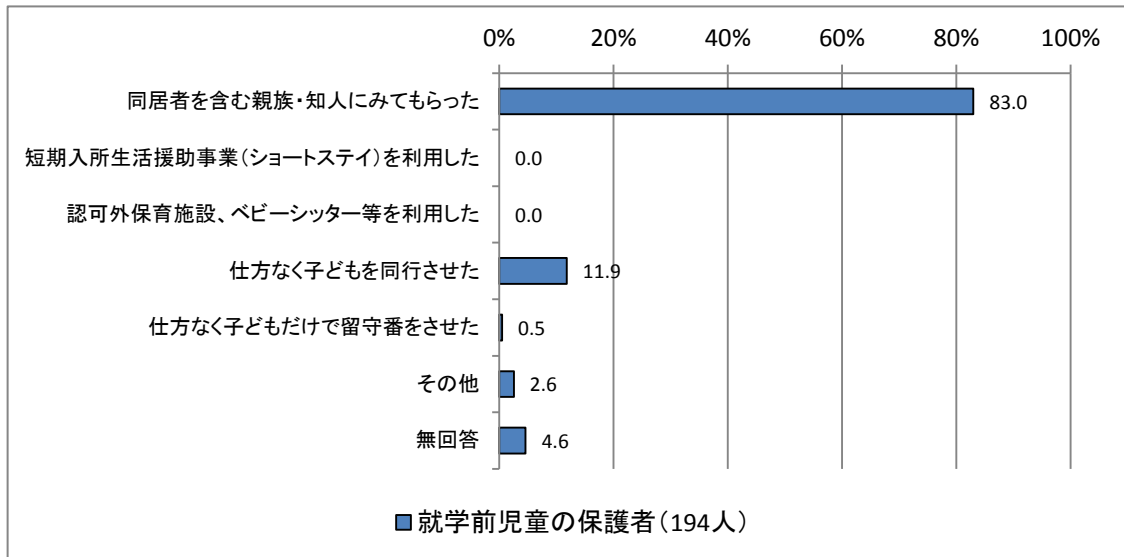
⑩ 冠婚葬祭などにより、子どもを泊りがけで家族に見てもらった状況の有無（単数）  
【就学前：問26】

冠婚葬祭、保護者・家族の病気などにより、子どもを泊りがけで家族にみてもらった状況の有無については「なかった」が79.6%、「あった」が14.3%となっています。



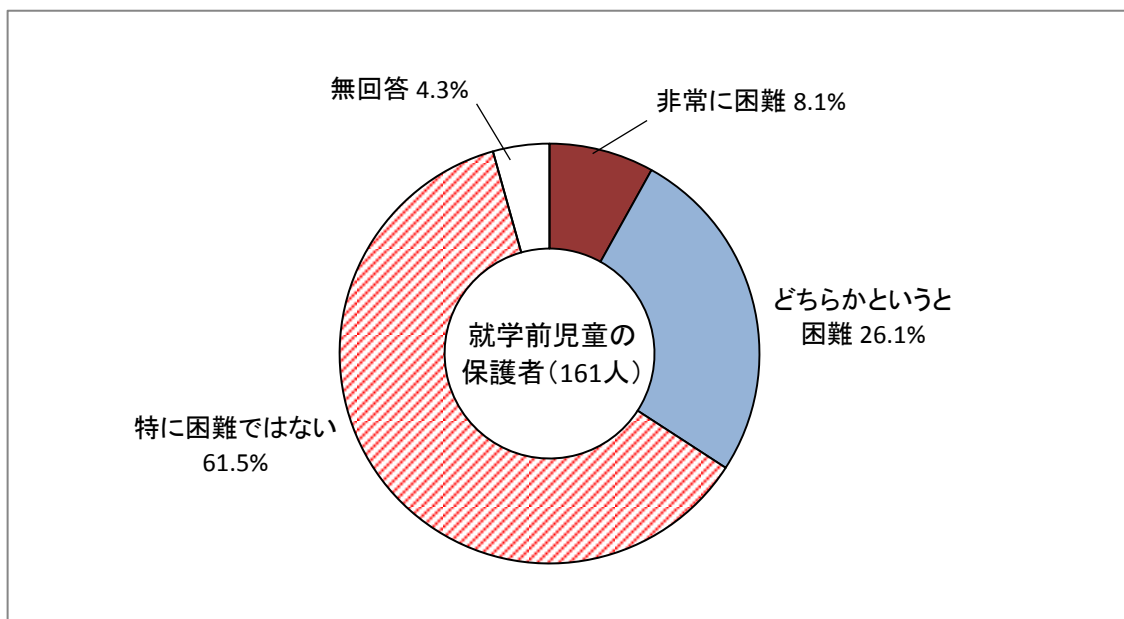
⑩-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気）による泊りがけの際の対処方法  
（複数）【就学前：問26】

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）による泊りがけの際の対処方法としては、「同居者を含む親族・知人にみてもらった」が83.0%と回答の大半を占めています。続いて「仕方なく子どもを同行させた」が11.9%となっています。



⑩-2 親族・知人にみてもらった際の困難度（単数）【就学前：問26-1】

親族・知人にみてもらった際の困難度については、「特に困難ではない」が61.5%、「どちらかという困難」が26.1%、「非常に困難」が8.1%となっています。

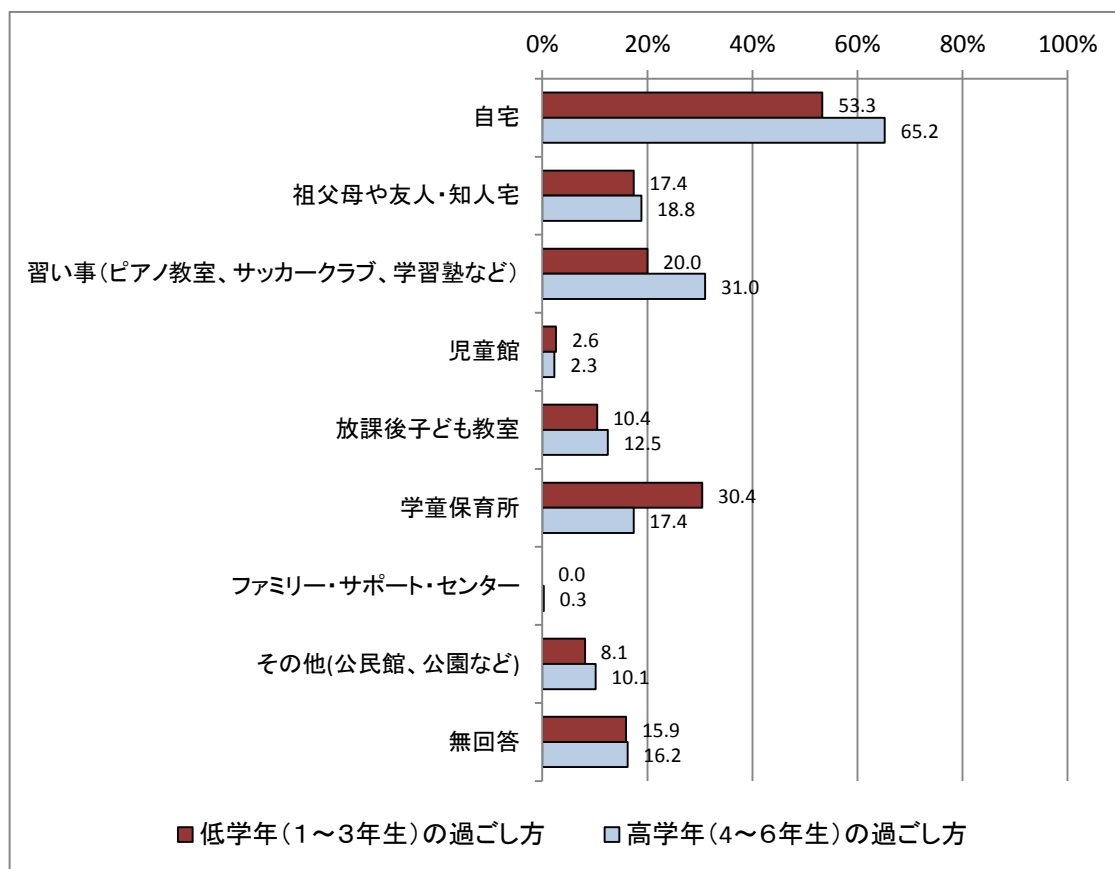


## (6) 学童保育所の利用について

⑪ 小学校入学後の放課後の過ごし方（複数） ※回答はお子さんが5歳以上の方（345人）

【就学前：問27、問28】

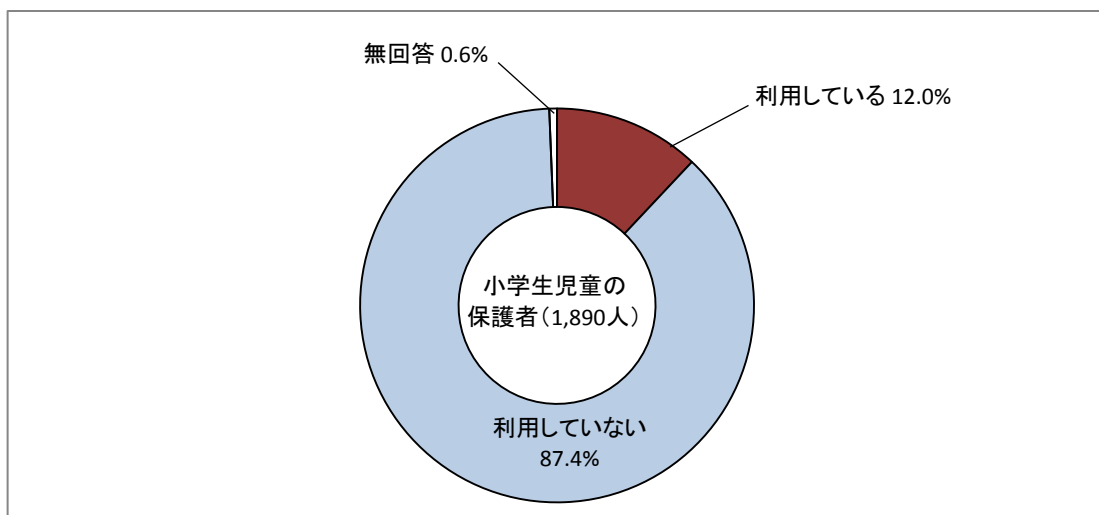
小学校入学後の放課後の過ごし方については、低学年、高学年ともに「自宅」が5割以上となっています。次いで、低学年では「学童保育所」が30.4%、「習い事」が20%となっています。高学年では「習い事」が31.0%、「祖父母や友人・知人宅」が18.8%となっています。「学童保育所」は高学年になると利用意向が少なくなっています。





⑫ 学童保育所の利用状況（単数） 【小学生：問13】

学童保育所の利用状況については「利用している」が12.0%、「利用していない」が87.4%となっています。



### ⑬ 今後の希望する放課後の過ごし方（複数） 【小学生：問19】

今後の希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が77.0%で最も多く、大半を占めています。また、「習い事」が31.2%、「学童保育所」が22.5%となっています。

